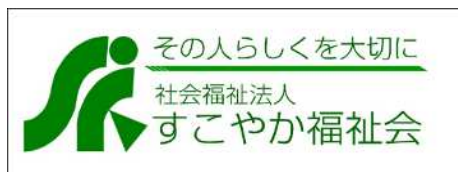


# すこやか福祉会 2022年度事業報告

2023年6月23日

社会福祉法人すこやか福祉会評議員会



## 1. 法人概要

### ■法人設立の目的・趣旨・経営方針

社会福祉法人すこやか福祉会の設立は、四ツ木診療所（医療法人健和会）の職員保育所として出発した無認可保育所「竹の子保育所」と同じく無認可保育所の「東金町保育園」が一緒になって認可保育園開設にむけて取り組み、「産休明けから預かる保育園を」と願う若い親たちと働きつづけることの大切さを感じ取っていた地域住民の方々の協力で葛飾区東金町に開設した「こぼとの森保育園」が原点です。

1998年（平成10年）2月に社会福祉法人の認可を得て今年で25年を迎え、運営する事業所数はこの数年で介護人材不足による事業所閉鎖が数ヶ所あり2023年3月末現在で事業所数は44ヶ所（分室・サテライト含む）となりました。

法人設立から今日に至るまで、私たちは一貫して「安心して住みなれた地域に住み続けられること」をめざして、医療法人（健和会、南葛勤医協、アカシア会）や学校法人（東都医療福祉学院）、介護事業を担う法人（福祉協同サービス、小鳩会）、特定非営利活動法人（たんぼぼ会、

三郷おあしす会）など東都保健医療福祉協議会を構成する法人やそのほかの介護・福祉事業を展開する社会福祉法人、一般社団法人との連携を強め、医療と福祉のネットワークづくりに努力してきました。また、社会福祉法人のもつ高い公共性から社会貢献をめざし、子どもからお年よりまで病気であっても障がいを持っていても、安心してすこやかな生活をおくることができる福祉サービスを提供できるよう事業活動を展開してきました。

「法人の基本理念」に沿って、これからも福祉サービスを必要とする人々が、社会、経済、文化その他のあらゆる活動に参加する機会を得ることができるよう、総合的で質のよいサービスの提供をめざします。



## すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、命と人権をなによりも大切にします。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得るよう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり人を大切にその子らしく生きる力を育むことを支援します。

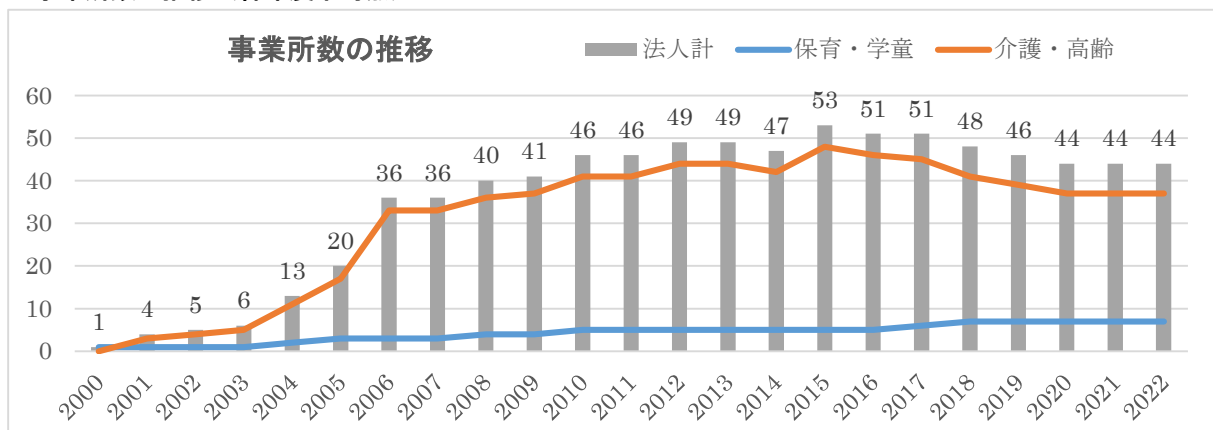


すこやか福祉会  
イメージキャラクター  
すこふくちゃん

■法人設立	1998年(平成10年)2月27日
■本部所在地	東京都葛飾区新宿三丁目4番10号
■本部事務局	東京都足立区千住曙町4-16
■実施事業	第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム 第二種社会福祉事業 保育所、放課後児童健全育成事業 一時預かり事業、通所介護 認知症対応型共同生活介護、訪問介護 障害者福祉サービス事業、移動支援事業 短期入所、小規模多機能型居宅介護 居宅介護支援、グループリビング 地域包括支援センター 公益事業

## 2. 事業概要

- 事業地域 2都県(6区2市)  
東京都(葛飾区・足立区・墨田区・港区・江戸川区・江東区) 埼玉県(三郷市・八潮市)
- 事業規模 年間収入 約33億2300万円(2022年度)
- 事業所数 44事業所(2023年3月31日時点) \*地域包括支援センター分室・訪問介護サテライト事業所含む  
特別養護老人ホーム1、都市型軽費老人ホーム1、保育所3、学童保育クラブ4  
通所介護6、グループホーム7、訪問介護12、短期入所(特養併設)、認知症デイ2  
小規模多機能3、居宅介護支援2、地域包括支援センター2、グループリビング1
- 事業所数の推移(各年度末時点)



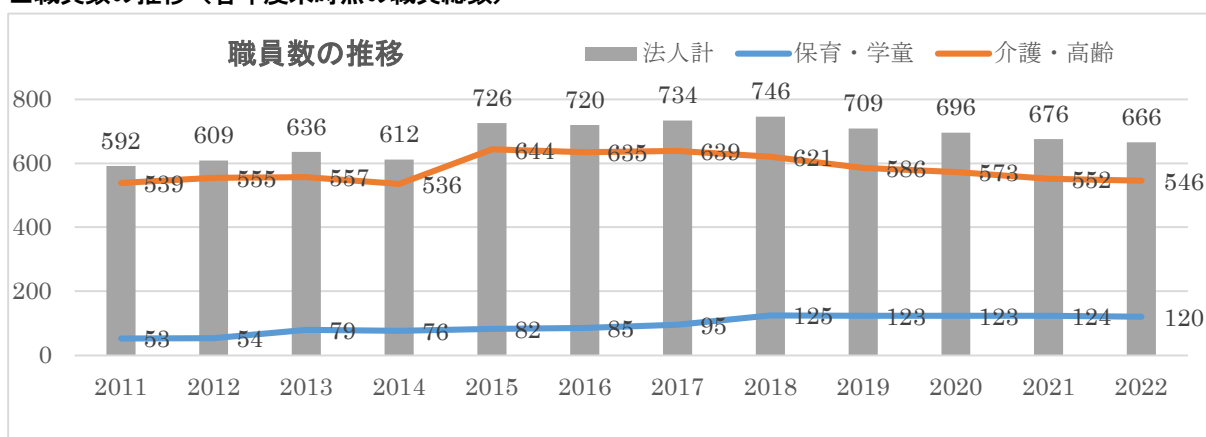
■2022 年度開設事業所（なし）

■2022 年度閉鎖事業所（なし）

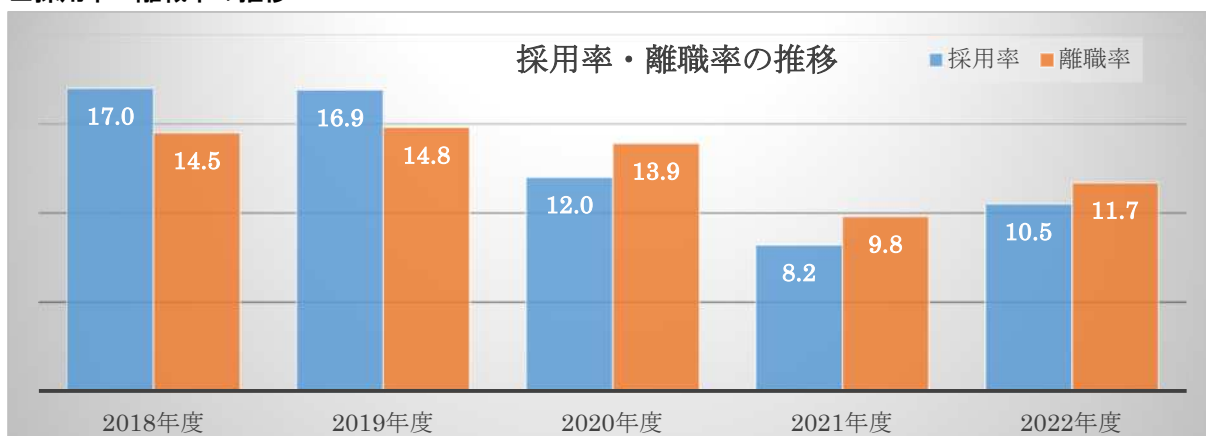
■職員数 671.6 名（2022 年度平均）

年度末時点	2022 年度	2021 年度	前年差	前年比	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
職員数合計	666.0	676.0	▲10.0	98.5%	696.0	718.0	746.0	734.0
（常勤）	232.0	246.0	▲14.0	94.3%	252.0	265.0	264.0	253.0
（非常勤）	434.0	430.0	+3.0	100.9%	444.0	453.0	482.0	481.0
常勤換算	474.9	480.3	▲5.4	98.9%	496.3	522.8	529.3	518.8
離職率	11.7%	9.8%	+1.9	119.4%	13.9%	14.8%	14.5%	
離職率：介	12.1%	9.3%	+2.8	130.1%	13.2%	14.3%	14.3%	13.8%
離職率：保	9.9%	12.2%	▲2.3	81.1%	16.7%	16.9%	17.3%	

■職員数の推移（各年度末時点の職員総数）



■採用率・離職率の推移



### 3. 2022 年度の運営概要

■法人役員（2023 年 3 月 31 日現在）

理事 7 名（定数 6～8 名）

理事長	藤井 博之	（2021 年 6 月 28 日就任、第 5 代理事長）
常務理事	菊地 雅彦	（業務執行理事）
理事	天野 義久	：特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷施設長
	新井 敦子	：軽費老人ホームケアハウスかねがふち施設長
	石井 良子	：保育事業部長・八潮かえで保育園園長
	小笠原 光雄	：葛飾健康友の会事務局長
	中山 美千代	：特別養護老人ホーム小鳩園施設長

監事 2 名（定数 2～3 名） 佐々木 栄明 : 医療法人財団健和会事務局長  
畑中 大吾 : 社会福祉法人東京さくら福祉会常務理事

■評議員（2023 年 3 月 31 日現在）

評議員 9 名（定数 7～9 名） 阿部 孝史 : 医療法人社団はたがや協立会常務理事  
伊藤 俊夫 : すこやか福祉会を支援する会会長  
佐々木 史子 : 社会福祉法人なの花会理事長  
対馬 眞代 : こばとの森保育園保護者 O B  
寺田 慎 : 医療法人財団アカシア会理事  
中野 三代子 : 一般社団法人幸樹会代表理事  
野口 修二 : 城南保健生活協同組合専務理事  
堀口 千恵子 : 元社会福祉法人ねりま共育ちの会副理事長  
三井 亨 : 社会福祉法人三多摩福祉会常務理事

■評議員会（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

定時評議員会 6 月 2 4 日（金） 10:00～11:10、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(評議員 8 名出席)

議題 2021 年度事業報告、2021 年度計算書類報告、資産登記の変更  
任期途中辞任に伴う監事選任

臨時評議員会 3 月 2 4 日（金） 10:00～11:20、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(評議員 6 名出席)

議題 2022 年度補正予算、2023 年度事業計画、2023 年度第 1 次予算

■理事会（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日） 7 回開催（定時 6 回、臨時 1 回）

第 1 回定時 5 月 6 日（金） 10:00～11:15、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(理事・監事全員出席)

議題 管理者人事、設備投資・備品購入、春闘回答、徴収不能負担金の損失計上  
夏期一時金回答・支給額及び金融機関借入、土地売却交渉開始

第 2 回臨時 6 月 3 日（金） 10:00～11:45、千住曙共同会館別館会議室+オンライン  
(理事・監事全員出席)

議題 2021 年度事業報告、2021 年度計算書類報告、資産登記の変更  
2022 年度第 2 次予算、設備投資・備品購入、葛飾やすらぎの郷定員変更  
監事選任、定時評議員会開催日時・会場・議案、会計監査人契約

第 3 回定時 7 月 1 日（金） 書面同意議決（理事・監事全員同意）

議題 設備投資・備品購入、手当支給申請、介護事業系就業規則変更

第 4 回定時 9 月 2 日（金） 10:00～11:25、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(理事全員出席、監事 2 名中 1 名出席)

議題 設備投資・備品購入、F C 船堀事件再発防止と責任問題  
葛飾やすらぎの郷大規模修繕工事実施設計及び監理業務契約  
東京さくら福祉会との合併契約書

第 5 回定時 1 1 月 4 日（金） 10:00～11:55、千住曙共同会館別館会議室+オンライン  
(理事・監事全員出席)

議題 管理者人事、F C 船堀事件再発防止と懲戒発令  
年末一時金回答・支給額及び資金借入、保育事業部賃金規程改定

第 6 回定時 1 月 6 日（金） 10:00～12:05、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(理事全員出席、監事 2 名中 1 名出席)

議題 設備投資・備品購入、管理者人事、2022 年度予算編成方針  
東京さくら福祉会との法人合併基本合意書案及び合併契約書案

第 7 回定時 3 月 3 日（金） 10:00～12:15、千住曙共同会館 3 階会議室+オンライン  
(理事・監事全員出席)

議題 設備投資・備品購入、管理者人事、2022 年度経営報告と 2022 年度補正予算

保育園 3 園の保育所施設整備積立金計上及びコロナ手当支給  
 2023 年度事業計画、2023 年度第 1 次予算、2023 年春闘要求回答  
 東京さくら福祉会との法人合併基本合意書及び合併契約書  
 土地売買不調に伴う新たな活用、葛飾区補助金誤支給問題の対応  
 利用料回収不能金の損失処理、臨時評議員会開催日時・会場・議案  
 コロナ流行下における介護サービス提供体制確保事業での危険手当支給  
 外国人留学生の家賃補助・就学資金借入連帯保証  
 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画届出

■会計監査人<協働公認会計士共同事務所>往査の状況 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

別紙会計監査人報告書参照

■監事監査 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日) 1 回開催 (監事全員出席)

5 月 25 日 (水) 10:00～12:00、千住曙共同会館 3 階面談室

■苦情対応第三者委員会 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日) 1 回開催 (第三者委員 4 名中 3 名出席)

8 月 30 日 (火) 15:00～17:05

議題 特養入居者家族からの苦情対応についての意見交換  
 小多機利用者の利用料滞納対応についての意見交換  
 保育園の育児困難家庭への支援についての意見交換

■評議員選任・解任委員会 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日) 未開催

## 4. 2022 年度事業活動のまとめ

### はじめに 2022年度、私たちを取り巻く情勢

ロシアのウクライナ侵略戦争に端を発した世界的軍事緊張と、それを利用した大軍拡の推進、アベノミクス失政による日本経済の行き詰まり、国民負担を強いることでしか継続案を示せない社会保障解体路線など、これ以上の平和と人権尊重の流れへの逆流、後退を許すならば、戦後、日本が何とか守り続けてきた、この国のありかたそのものが瓦解する危機に直面しています。いま日本は、大軍拡し戦争する国になるのか、憲法を生かし平和と人権・社会保障が充実した国になるのか、岐路に立っています。私たちは、職員や利用者のみならず、共同組織や地域の方々とともに、より広範な人々と連帯し、様々な策動を乗り越えていかなければなりません。

2020年初頭からまる3年に及び世界を席卷した新型コロナウイルス感染症は、最大規模の感染者数、医療崩壊、医療福祉関連事業所でのクラスター多発、過去最悪の死者数をもたらすなど、全世界でその猛威を繰り返してきました。2022年度末の第8波収束後、政府は新型コロナウイルス感染症を2類相当から季節性インフルエンザと同等の5類に変更すると発表しました。3年間続けてきた新型コロナウイルス感染症対策が次の段階に進むことになります。しかし、新型コロナウイルス感染者が一定数発生する環境においては、世間がどんなに「withコロナ」モードであったとしても、高齢者や乳幼児、生活弱者に日常的に接する福祉の現場では、慎重な感染対策を今後も続けていく必要があります。

コロナ禍で噴出した貧困と不平等は、歴代の政権が進めた新自由主義的改革によって、人々の生活を支える社会的基盤の不安定さ、生活困難に対応すべき社会保障制度の脆弱性が浮き彫りになったものです。コロナ禍で生活困窮者などに貸し付けていた生活福祉資金貸付制度の「コロナ特例貸付」は、2023年1月から順次返済が始まっています。しかし、困窮の改善が見通せない中、返済免除申請は3割を超えているとい





う報道がありました。また、コロナ禍にとどまらず、コロナ禍以前の構造的困窮に加え、物価高騰が暮らしを直撃しています。私たちは、従来取り組んできた地域貢献活動に加え、地域へのアウトリーチや法人減免制度の活用など、格差と貧困・困窮への支援活動を強めていく事が求められています。

2022年度は3年ごとに実施される介護保険制度見直しの検討が行われた1年でした。当初、「要介護1、2の生活援助の削減」や「ケアプランの有料化」など、「史上最悪」とも称された

見直し案が示されましたが、それらに対するかつてない危機感と反対の世論の高まりの中、全面的な実施を阻止することができました。私たち東都協議会ではすべての事業所で介護ウェブ2022請願署名に取り組み、11,000筆を上回ることができました。しかし、「利用料2割負担の対象拡大」など一部の改悪案は継続審議とされ、今夏までに結論を出すとはされています。また、介護報酬改定が2024年4月に実施されることもあり、2023年度は昨年度を上回る改悪阻止の運動を強めていく必要があります。

保育施設での園児に対する虐待事案や通園バスに置き去りされた園児の死亡事故などが全国で相次いで起こりました。実態の徹底した解明と、再発防止対策が急務ですが、なぜこのようなことが起こったのか、その背景について検証する必要があります。現在の保育現場は多様な保育ニーズに応える高い専門性を求められる中、限られた人員でゆとりある体制が保障されていない現実があります。4、5歳児では一人の保育士が30人の園児をみなければならないなど、諸外国と比べても最低レベルの人員配置基準となっています。保護者との意思疎通を図り、職員間で連携して情報共有し、支援し合うことが難しくなっています。ゆとりのない保育施設では、どこでも今回のような事案の起きるリスクを抱えているといえます。私たちは、憲法・子どもの権利条約・児童憲章・児童福祉法などを土台として、子どもたちの人権を守り、最善の利益を保障する保育の基本を守り、日々の保育をあらためて点検し、保護者や地域の方々とともに保育の諸条件を充実させるために全力で取り組みます。

## ①「全職員参加の経営」の実践で安定した経営体質づくり

### ○事業計画に連動した収入・支出予算管理と第2次5カ年計画の具体化

予算乖離の大きい通所介護・訪問介護・小多機の事業所で、事業所単位の経営検討会議（埼玉エリアでは「発展計画会議」）を開催し、当該事業所の常勤職員だけではなく、非常勤職員やケアマネ、事業圏域の他事業所からも参加し検討を重ねました。また、デイ采女の里は東京民医連の他法人の方々にも参加を要請し、デイトミタでは経営検討会議を起点に経営改善につながりました。しかし、多くの通所介護事業所で予算乖離が大きく課題が残りました。そのほか、湾岸エリアでは、年間を通じて「所長ミーティング」を継続する中で、安定した経営体質づくりに向けて議論し理解を深めることができました。

保育事業部では、おおぜ学童保育所が引き続き2022年度から3年間の指定管理を受けることになり、八潮地域での保育事業での連携を強めていくために、八潮かえで保育園との人事異動や相互支援などの人事交流を行いました。金町地域では、つばさ学童保育クラブが4月に校外の賃借物件から金町小学校第2校庭内に移転し、ワンフロアで保育内容の工夫が可能な施設となりました。また、こぼとの森保育園が4月から認可定員を91名から84名に変更したことにより職員配置を減らすことができ安定した経営体質づくりに貢献できました。

2022年度は、第2次5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の2年目ですが、年間を通してコロナ禍による様々な困難に直面し、さらに慢性的人材不足や物価高騰などの影響で、前年度同様、大きな前進を作り出すことはできませんでした。

### ○「withコロナ」での持続可能な事業所運営

社会福祉事業経営は費用の大部分を人件費が占める構造のため、文字通り職員の働き方と意欲に左右されます。そのため、法人理念を理解し、経営を守る視点も踏まえた管理・マネジメントを担う管理者の役割・配置が重要です。「withコロナ」での持続可能な事業所運営を進めていく上で職

員の意欲を引き出せる取り組みが求められます。

クラスター発生に伴う休所・休園や稼働縮小が引き続き今年もあり、デイかねがふちでは、自治体の事業所運営基準が厳しく出勤可能な職員数が不足し3日間休業せざるを得ないということもありました。また、コロナ禍下での介護サービス提供体制確保事業で2022年度クラスターが発生したGH青戸、葛飾やすらぎの郷、GH福さん家、GHみたての4事業所に危険手当を支給しました（総額700万円）。補助金対応について各エリアに任せず宝飯人で対応すべきだったという反省点があり、今後の対応について検討していくことにしました。

2017年10月に介護事業部がエリア事業部制に移行して2023年3月末で5年半が経過し、内外的にも確実に浸透し、確立してきました。しかし、プレーイングマネージャーであるサブマネージャーの任務や位置づけの問題、またエリアマネージャーがコンプライアンスマネージャーの任務を兼任することによる管理ラインの混乱など、解決すべき問題が内包しています。これらの課題は次年度早急に対策を進めていかなければなりません。

#### ○不採算事業所対策や資金流出等の緊急改善課題への迅速な対応

不採算や人材不足による閉鎖の連鎖は将来的には展望が見えなくなるため、新たな事業展開へとギアの入れ替えが必要です。通所介護事業所の4年続けての経営悪化はどのエリアでも課題であり、迅速な経営対策が急務の課題です。

保育分野では、0歳児や幼稚園転園による3歳児の定員割れ、野のはな保育園での開園以来続いている定員割れ、保育事業部での人材紹介会社を使つての人材確保など、保育事業部での経営対策の必要性が浮き彫りになりました。逆に学童保育は定員を超える応募状況で待機児問題が切実な課題となっています。金町地域では区から新設学童の開設を求められる状況となっており、可能性があれば受ける方向で進めていきたいと考えています。

食材費、ガソリン代、光熱費などの高騰という社会的要因により、事業費・事務費の支出が大幅に増加しました。特に電気料金は使用料がほぼ変わらないにもかかわらず高い月で前年比200%を超える金額に達するなど、大きく経営に影響を与えました。翌2023年度に電気事業者の変更などで対応を進めているところです。

以前、千住大川デイサービスセンターとして使用していた太田ビルは、デイ閉鎖後もNPO法人や共同組織の様々な活動に無償で貸与してきましたが、2023年4月で賃貸契約が終了となるため、賃貸契約終了後の契約・活動について協議を進めてきました。2023年5月以降は医福協が賃借することが決まり、年間920万円の賃借料が終了することになります。

#### ○老朽化した施設の修繕とよりよい施設への改修

2001年開設の特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷の老朽化が進んでいるため、2021～2022年度にかけて防水改修、外壁、内装工事を行いました。青戸福祉の家、かなまち福祉の家の空調工事も年度またぎで実施し、また、デイなごみの外壁工事も行いました。それ以外の複合施設・事業所でも建設後10数年～20数年経過しているところがあり、計画的な改修工事が求められる状況です。



#### ○他法人との連携・交流を大きく進める取り組み

社会福祉法人東京さくら福祉会との法人合併は2023年3月に合併契約書・合併基本合意書を両法人理事会で承認し、2023年10月に合併する方向で準備を進めています。合併は、すこやか福祉会が東京さくら福祉会を吸収する吸収合併の形式をとることになり、合併に向けて、両理事長懇談会、合併プロジェクト事務局会議、労務総務プロジェクト会議、経理財務プロジェクト会議、介護現場プロジェクト会議が動き出しました。特に介護現場プロジェクト会議はサービス事業別（訪問介護、

通所会議、GH、小多機、居宅、事務局)に交流が進み、会議参加や現場見学、学習会開催など活発に動いています。

特養増床・移転新築に向けて動き出した社会福祉法人小鳩会との連携が深まり、定期協議や運営面での提案、幹部の出向支援を引き続き行っています。2024年春過ぎには増床移転新築の予定のため、具体的な増床移転準備や日常運営支援の強化が課題です。

#### ○法人支援者からの遺贈

長年ご支援いただいていた方が他界され、遺言書により全財産をすこやか福祉会に遺贈していただくこととなり、多額の金融資産及び不動産の寄附をいただきました。その御遺志を真摯に受け止め、法人が担っている社会福祉事業の発展と新たな開拓に活用させていただく予定です。

### ②法人運営の新たな段階をめざすための幹部の育成と事業活動を担う人材の確保

#### ○幹部再配置で、第2次5カ年計画を担う世代への交代

年度内での交代は進みませんでした。2023年度に予定されている東京さくら福祉会との法人合併に向け、準備を進めてきました。また、特養建設が決まった小鳩会への出向人事は精力的に実施してきました。

#### ○私たちの事業の成否がかかる人材の確保と育成

人材確保は前年度に引き続き厳しい1年でした。保育事業部では採用委員会を中心に職員確保の取り組みを進めていますが、依然人材紹介会社経由での中途採用が中心となっていて、採用委員会の取り組み強化が求められます。介護事業では派遣職員0名を目標に取り組んでいましたが、グループホームでの特に夜勤職員の確保に苦戦し、派遣に頼らざるを得ない状況です。

離職させない職場づくりを目標に離職率10%以下をめざして取り組み、2022年度は法人全体で11.7%の到達で前年度より1.9ポイント悪化し、目標を達成することができませんでした(介護系12.2%、保育9.3%)。採用率は年々低下傾向でしたが、2022年度は10.5%(前年度8.2%)と2.3ポイントアップ(介護系10.5%、保育10.7%)することができました。しかし、人材不足の状況は介護系・保育ともに厳しい状況に変化はありません。

2022年度も引き続き介護留学生を受け入れました。留学生は主に足墨エリアの各事業所で習慣・文化の違いはありますが受け入れの中心となって対応しました。また、2023年3月に卒業した介護留学生は葛飾やすらぎの郷・小多機よりみちの家・小多機馬渡さん家・新宿デイで無事採用となりました。2023年度の新卒採用は、コロナ禍で介護職養成施設への働きかけや実習受け入れが予定通り進まなかったのですが、新たに12月に開設した「人財採用・教育・広報室」などの取り組みにより、目標数を達成することができました。

2022年6月時点での障がい者雇用状況は、法定雇用数10.0人に対して実雇員数16.0人で6.0人法定雇用数を上回っている状況で、雇用率3.44%となりました。特に埼玉エリアでは、小多機馬渡さん家で介護助手業務に複数雇用し、10月には業者との清掃委託業務を解約し障がい者雇用職員の業務に位置付け、雇用率5.88%と記録的な高雇用率となりましたが、一方、保育事業部・本部では0%と一部のエリア・事業所に偏っている状況です。

2022年12月に東京を中心にオンラインで開催された21老福連職員研究交流集会にすこやか福祉会から座長・助言者・演題発表等で6名が参加し、集会運営には天野やすらぎの郷施設長が実行委員会事務局長として参加しました。

### ③社会福祉法人としての役割実践と平和や社会保障拡充、環境問題等の取り組み

#### ○コロナ禍で明らかになった「いのちと人権」の危機からの転換をめざす活動

法人独自減免制度については、コロナ禍での申請が増え、2021年度に引き続き特徴的な取り組みとなりましたが、制度の活用の方ではまだまだ不十分な部分があり、今後の課題となりました。今後の活動に大いに期待するところですが、福祉(介護・保育)相談に結び付けることができるような職員の「目とかまえ」が重要な課題です。

#### ○地域における公益的取り組みや連携を進める活動

子育て相談支援・地域交流の場の提供、地域行事への参加、施設の一部や園庭の解放、認知症や介護予防講座の実施、生活困窮者への支援など多くの目標を設定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でそのほとんどが中止となりました。金町での子ども食堂「カフェひろば」も前年度



に引き続き弁当配付にとどまりましたが、弁当配送などを法人全体で取り組むなど前進面もありました。葛飾区では青戸地域と四つ木地域で高齢者サロンに協力し、埼玉エリアではフードパントリーの活動の手伝いへの参加を継続し、地域と楽しく関わるとても良い機会となり、今後も継続していく予定です。

地域への介護体験講座・学習の取り組みについては、港区の小学校から再開の依頼がありましたたがコロナ禍で中止となりました。しかし、小多機葛西みなみは12/19に近隣小学校で介護体験教室を実施し小学6年生約60名が参加しました。また、江戸川区では地域包括の地域住民向け活動に今年度から会場提供の協力も高い連携強化につながっています。

葛飾区で葛飾保間協が子育てフェスタを開催していますがコロナ禍で中止となり、代わる催しものとして『あの日のオルガン』映画観賞会を開催し、保育事業部としても積極的に取り組みました。



#### ○憲法を守るたたかの一層の前進と介護ウェブ署名の取り組み

7月から始まった介護ウェブ2022西岸署名の取り組みは、この間の介護をめぐる新たな動向（「分配」ではなく「分断」の新たな処遇改善策、「生産性向上」の名による人員配置基準の緩和、介護保険次期改定での給付削減・負担増など）に対して改悪ストップの動きを大きく進めてきました。その中で、F C大島が利用者・家族に協力をお願いする手紙を作成し、本部事務局では「すこやか福祉会を支援する会」会員に送付するなど、多くの事業所で積極的に取り組み、協議会での署名の到達が11,000筆を超えることができました。また、国会署名提出行動への参加や「介護ウェブ学習会」を独自にオンラインで開催するなど新たな取り組みを行いました。

#### ○SDGsを学び、環境・社会・経済面での負荷軽減に結び付ける取り組み

第2次5カ年計画にSDGsを取り入れて、身近な分野から地球規模に考え学ぶことを目標としました。しかし、こばとの森保育園など一部の事業所で取り組まれたのですが全体的な活動まではなかなか進みませんでした。

#### ○支援募金活動

今年度はウクライナ人道支援募金（24事業所252,274円）やトルコ・シリア大地震緊急募金（10事業所85,363円）に取り組みました。

### ④様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と実践課題

#### ○関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定

法令遵守委員会を毎月開催し、日常的に整備を進めることができました。各サービス事業のコンプライアンス・サービス向上委員会も定期開催しましたが、エリアとのかかわりでのラインの整理・整備が課題となっている現状があり、改善課題です。

#### ○日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の対応ルールの確立

福祉サービスでのリスクマネジメントは、利用者満足度の向上や利用者の安心と安全を守る適切なサービス提供を実現することが目的です。万一の事故の際もすばやく適切な要因分析や手順改善等の対応ができるリスクマネージャー配置に向けた第1歩となりましたが、リスクマネージャーの配置までには至りませんでした。

### ⑤経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

#### ○ブランディング強化の取り組み

社会福祉法人といえどもブランディングは重要なコンセプトです。強化する必要性をまず職員一

人ひとりが認識し、法人・事業所アピール、採用強化のための広報物、利用者増のための営業ツールの作成などが重要な課題となっています。

#### ○広報紙「すみなれたまちで」の徹底した活用と送付先の拡大

「すみなれたまちで」の定期発行を継続して行い、送付先の拡大等によるアピール活動の強化を進めることが継続してできました。しかし、さらなる活用をめざして、他法人の取り組み・活用方法などを参考に再検討していくことが必要です。

#### ○一貫した宣伝やホームページ等の充実や民医連新聞・いつでも元気等への通信員登録と投稿

日々の取り組みを情報収集し、SNSでの定期発信を行ってきました。新たに採用専用ホームページを作成することを確認しました。法人ホームページと合わせ定期的な更新と発信を行なうことや広報委員会の強化が課題です。

#### ○様々な宣伝媒体の活用

FM軽井沢から「軽井沢ラジオ大学 地域ケアの実践」の取材依頼があり、藤井理事長と菊地常務理事が8/8に収録し、8/15に放送されました。また、エッセンシャルワーカータイムズの「すべてのエッセンシャルワーカーの皆様を応援するサイト」職員インタビューに小多機葛西みなみの安井さんが2023年2月に取材を受けるなど、新聞・雑誌等の取材・記事掲載も前年同様に多かった1年でした。

### ⑥その他の特徴的な取り組み

#### ○葛飾区補助金誤支給返還問題への対応

葛飾区保育事業のミスによる総額5.1億円の私立保育所への補助金誤支給問題が発生し、こばとの森保育園も約680万円の返還を葛飾区から迫られました。法人として「葛飾区後支給問題検討委員会」を立ち上げて対応方針を検討しましたが、検討すればするほど当方のミスではなく区のあることが明らかになり、そのツケを私立保育所側に転嫁するという事態に対して、委員会として区と担当課等に対し3回にわたり交渉を重ねました。法学者や複数の弁護士の意見を踏まえて交渉を行いました。最終的には民法705条による非債弁済（当方に責任はないが情勢判断として返済に応じる）することとしました。8回にわたって委員会を開催し、返還によって委員会の基本的役目は終わりましたが、委員会で培ったパワーを引き続き保育事業部の将来構想や運営課題を検討する委員会へバージョンアップすることを確認し、次年度にあらためて新設委員会として立ち上げることとしました。

#### ○葛飾やすらぎの郷でのクラスター発生

葛飾やすらぎの郷で新型コロナウイルス感染症の1人目の感染者が7/21に発生し、最終的に入居者71名、職員27名合計98名に及ぶクラスターが発生しました。9/7には収束を確認しましたが稼働が大きく下がりがり減収となりました。また、多くの職員が感染し、他の事業所から応援を受けながら施設の稼働をなんとか維持することができました。その中で、コロナ療養明けの後遺症やメンタルに悩む職員も多くメンタルケアの実施が課題となりました。

#### ○静岡県で起こった園児虐待事件を発端とした保育園不祥事報道を受けて

静岡県裾野市の私立認可保育園で発生した園児虐待事件で保育士が逮捕された件を受けて、保育事業部として、「子どもの人権を確認し、法人の理念や姿勢に基づき共に育て合い共に育ち合う保育を実践します」という職員向け・保護者向けの手紙を発行しました。その後、各地での園児虐待や運営費不正受給報道が続き、保育園の保育や運営に厳しい目が向けられる状況となっています。

#### ○FC船堀での銀行カードによる不正引き出し事件

FC船堀で銀行キャッシュカード紛失及び6月の3日間に480万円もの不正引き出し窃盗事件が発生しました。窃盗事件として警察に被害届を提出するも年度末時点で解決には至っていません。今回の事件を調べていく上で、事業所での金庫やキャッシュカードがずさんな扱いとなっており、「管理されていた」とは言い難い状況であったことがわかり、再発防止に向けて対応の基準化や原則の確認について全事業所での点検・見直しが求められていることを確認しました。また、地域や職員の財産である社会福祉法人の資産を失ったことについての責任問題について理事会で対応しました。

## 5. 2022 年度研究発表・研修講演活動及び取材・記事掲載

### ①研究発表・研修講演活動

- 葛飾総合高校福祉総合演習講師「地域コミュニティを考える」：4月26日  
地域包括青戸 新美 育子
- 地域包括支援センター主催オレンジカフェ：5月19日  
健康体操・歌レクリエーション 小多機葛西みなみ 吉野 正登  
山主 恵香
- 東部東葛ブロック総会医療福祉活動交流集会演題発表：6月18日  
優秀賞「新たな取り組み～その先へ～」 葛飾AM 江川 慎吾  
優秀賞「不安に寄り添うこと～We can do it!～」 小多機馬渡さん家 町田 章  
「運営改善への取り組み」 GHみたて 田中 俊祐
- 東社協保育士会年齢別学習会2歳児保育：6月21日  
「2歳児の保育～心の動きを大切に」 八潮かえで保育園 小島 恵里奈  
松川 芽衣
- 東社協保育士会年齢別学習会異年齢保育：6月21日  
「異年齢保育の中の5歳児」 こぼとの森保育園 及川 ひとみ  
古木 美奈
- 東社協保育士会年齢別学習会0歳児保育：6月22日  
「子どもの行為を肯定的に捉える保育」 八潮かえで保育園 吉野 桃花  
島本 由美恵
- 21・老福連総会：6月29日  
「第20回職員研究交流会開催について」 葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 東京民医連介護職部会研修交流会：7月2日  
「外国人留学生の受け入れについて」 統括マネジャー 落合 直人
- 東京都社会福祉協議会福祉現場体験ツアーすこやかの家みたて：7月15日  
「ケアワーカーの魅力とは？」 本部事務局次長 中村 寛史  
湾岸AM 中野 一仁
- 全国保育団体合同研究集会：8月11日  
「子どもの発達と給食」 八潮かえで保育園 工藤 柚子  
「0歳児の保育」 野のはな保育園 兵藤 祐司
- 軽井沢ラジオ大学：8月25日放送  
「すこやか福祉会 地域ケアの実践」 理事長 藤井 博之  
常務理事 菊地 雅彦
- 協議会介護教育委員会1年目6ヶ月研修：10月21日  
「リスクマネジメント」 統括マネジャー 落合 直人
- 葛飾やすらぎの郷全体集会：10月21日  
「安心・安全に過ごせる居室環境作り」 葛飾やすらぎの郷 外館 和也  
「新人から中堅への成長中堅から新人へのアドバイス」 葛飾やすらぎの郷 関 由成  
「やすらぎでの生活」 葛飾やすらぎの郷 古宮 英朗  
「自分の自身に繋がった介護」 葛飾やすらぎの郷 小林 凌
- 東都協議会役員・評議員・管理者合同集会：11月19日  
「『法人合併』という選択」 常務理事 菊地 雅彦  
「葛飾やすらぎの郷クラスター報告」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
- 東京民連感染対策活動交流集会：11月19日  
「葛飾やすらぎの郷クラスター報告」 葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 21・老福連第20回職員研究交流会：12月3日  
「安心・安全に過ごせる居室環境作り」 葛飾やすらぎの郷 外館 和也

- 協議会介護活動交流集会：12月17日  
「新人教育から学ぶ仕組み作り」 新宿デイ 平島 真理子  
「力量ある人は何かが違う～利用者の心に一層寄り添える3つの方法～」 F C大島 大熊 有希  
「未経験者への教育」 GHかねがふち 梅原 敦子  
沼田 和夫
- 東京民連介護経営検討会議：1月14日  
「東京民医連の介護事業の現状と課題」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮  
「発展計画会議の取り組み」 埼玉AM 猪瀬 茜
- 第17回みさと北地区医療・福祉活動交流集会：1月21日  
「通所介護での利用者同志のつながりと支えあい」 デイ采女の里 栗原 一樹
- 協議会役職者研修：1月23日  
「第45回全日本民医連定期総会・運動方針について」 統括マネジャー 落合 直人
- 東京民医連人権としての社会保障運動交流集会：1月28日  
「ケアハウスからみえる高齢者の実態」 CHかねがふち 新井 敦子
- 第14回東京地方自治研究全国集会：2月4日  
「介護施設のクラスター報告」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
- 東京民医連第4回介護事業所法令遵守学習会：2月16日  
「セクシャルハラスメントへの対応」 F Cたかの 山本 洋子
- 東部東葛ブロック医療福祉活動交流集会：2月25日  
「デイサービスセンターかねがふちのあゆみ」 デイかねがふち 伊部 紀江
- 東京都社会福祉協議会ふくしを知ろうなんでもセミナー  
葛飾区立青戸中学校「職業人講演会」：3月3日  
「介護職の魅力とは？」 本部事務局次長 中村 寛史
- 東京民医連介護人材確保・養成取組み強化のための法人・事業所交流会：3月17日  
「すこやか福祉会 人財採用・教育・広報室の開設と介護職員定着の課題について」 本部事務局次長 中村 寛史
- 東京民医連介護職部会研修交流会（事例発表会）：3月18日  
「力量ある人は何かが違う～利用者の心に一層寄り添える3つの方法～」 F C大島 大熊 有希
- 葛飾区保健所主催シンポジウム「セルフネグレクト」パネリスト：3月23日  
地域包括青戸 新美 育子
- WEB 東京都高齢者福祉施設協議会東京の介護ってすばらしいグランプリ：3月24日  
(コラム部門)【優秀賞】  
「ちゃんちゃかちゃんの♪すっちゃんちゃん♪。何か良い事♪あるかしら♪。」 葛飾AM 江川 慎吾

## ②取材・記事掲載

- 下町の健康 4月25日 足立たすけあい村に500人超 本部事務局 堀 竜輔
- 協議会だより 5月号 おすすめの1冊「認知症の人も安心して暮らせる『成熟した社会』を目指して」 葛飾AM 江川 慎吾  
20代目「初めてのクラスリーダー」野のはな保育園 兵藤 祐司
- 健康のひろば 5月25日 わたしのふるさと「みんなが家族みたいだった下町」 F C八潮 児玉 葉子
- 協議会だより 6月号 加盟法人の2022年度活動方針「常にアクティブに、常に真摯に」 常務理事 菊地 雅彦  
リレーエッセイ「社会福祉士への道」地域包括青戸 杉村 恵美
- 協議会だより 7月号 東部東葛ブロック医療福祉活動交流集会  
「生きるための取り組み」 葛飾AM 江川 慎吾

「そんな時こそ『小多機』の出番です！」

- 小多機馬渡さん家 町田 章  
外国人介護職員を対象に、初めての ZOOM パーティー  
葛飾 AM 江川 慎吾  
憲法コラム「高齢者の自立した在宅生活と憲法の関係」  
デイ采女の里 栗原 一樹
- 協議会だより 8月号 委員会・専門部会の活動紹介「協議会介護運営会議」  
統括マネジャー 落合 直人  
リレーエッセイ「子どもは子どもらしく」  
本部事務局 赤石 俊右  
20代目「私にとって食事とは」 葛飾やすらぎの郷 市村 敬亮
- ゆたかなくらし 9月号 21・老福連職員交流集会の成功をめぐりリレーエッセイ  
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 協議会だより 9月号 kyogikai フォーラム「高校生介護1日体験を開催しました」  
本部事務局 横山 朋美  
憲法コラム「介護現場で『個人の尊厳を守る』とは」  
労組出向 久保 遼太郎
- 協議会だより 10月号 kyogikai フォーラム『「軽井沢ラジオ大学」の取材を受けました」  
理事長 藤井 博之
- 民医連新聞 10月17日 介護現場からみる第7波「救えたいのちが犠牲に」  
葛飾やすらぎの郷 天野 義久  
福留 孝枝  
小又 維鎮
- 民医連医療 11月号 わたしのこだわり「ミュージカルと介護の仕事」  
GH業平 紙屋 友信
- 民医連東京共済 11月1日 寅年生まれ仲間「もてる力を発揮できるように」  
デイ采女の里 豊田 美子  
小出 幸子
- 朝日新聞 11月22日 「次期介護報酬改定について」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
- ゆたかなくらし 12月号 21・老福連職員交流集会の成功をめぐりリレーエッセイ  
葛飾やすらぎの郷 長谷川 浩司
- しんぶん赤旗 12月27日 「高齢者施設クラスター過去最多」  
葛飾やすらぎの郷 天野 義久  
福留 孝枝  
福田 剛
- 下町の健康 1月25日 新年のご挨拶「分断を超えて、連帯の年に」  
理事長 藤井 博之
- 月刊赤ちゃんと！ 11月号 すこやか赤ちゃん「秋冬の衣類と過ごし方」  
八潮かえで保育園 松澤 英利子
- 協議会だより 11月号 kyogikai フォーラム「2023年度新卒介護職員内定式&内定者の集い」  
GH業平 紙屋 友信  
おすすめの1冊「声を上げれば一緒に立ち上がる仲間が必ず出てくる」  
足墨 AM 吉井 暁  
リレーエッセイ「スニーカー」 GHみたて 田中 俊祐
- 協議会だより 12月号 役員・評議員・管理者合同集会を開催『「法人合併」という選択』  
常務理事 菊地 雅彦  
第7波のクラスターを振り返って 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮  
協議会の乗り越えていく力を実感！ 保育事業部事務長 村井 重士

- kyogikai フォーラム 『『コロナ対応』をテーマに事例発表』  
GHみたて 金谷 聡志
- kyogikai フォーラム 『『現実』が動くためにはどうすればいいか?』  
本部事務局 石川 淳
- kyogikai フォーラム 「3年ぶりの介護ウェブ学習会」  
湾岸AM 中野 一仁
- 協議会だより 1月号 2022年度介護活動交流集会を開催『『様々な視点からの職員教育』をテーマに』  
GH福さん家 益子 雄二  
憲法コラム「憲法は何のために、誰のためにあるのだろうか」  
葛飾やすらぎの郷 渡邊 めぐみ
- みんないれん TOKYO 3月5日 「利用者負担増阻止の運動を」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
- 民医連医療 2月号 職員育成の理論を深める「多職種協働と民主的集団医療の伝統・現在・将来」  
理事長 藤井 博之
- 月刊赤ちゃんと！ 2月号 すこやか赤ちゃん「口の発達と離乳食の進め方」  
八潮かえで保育園 松澤 英利子
- 協議会だより 2月号 kyogikai フォーラム「職員による職員のための交流ができました」  
葛飾やすらぎの郷 天野 義久  
kyogikai フォーラム 『『転倒の起こらない環境作り』をテーマに発表』  
葛飾やすらぎの郷 外館 和也  
憲法コラム『『子どもの人権』で思うこと  
野のはな保育園 小沢 佳奈子  
おすすめの1冊「同調圧力」 統括マネジャー 落合 直人  
20代の子「東京民医連平和学校の沖縄研修に参加して」  
本部事務局 石川 淳
- エッセンシャルワーカータイムズ 2月27日  
「すべてのエッセンシャルワーカーの皆様を応援するサイト」職員インタビュー  
小多機葛西みなみ 安井 慶太
- 協議会だより 3月号 kyogikai フォーラム  
「発展計画会議の取り組み」  
埼玉AM 猪瀬 茜  
kyogikai フォーラム  
『『改悪は許さない！介護保険学習会』に参加して』  
本部事務局 川尻 佳司  
憲法コラム「反原発の住職『早川篤雄』さんを偲んで」 八潮かえで保育園 紺野 伊久子



## 6. 法人の沿革

- 1998年 2月 社会福祉法人すこやか福祉会 法人認可  
※初代理事長：内村 逸郎（初代常務理事：深沢 大三）
- 4月 こばとの森保育園（定員 65 名） 開園（葛飾区東水元）
- 1999年 7月 特養ホーム等高齢者施設づくりをすすめる会 発足  
※のちの、すこやか福祉会を支援する会
- 2001年 4月 こばとの森保育園 増築（定員 80 名）  
特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 開設（葛飾区新宿）  
（定員：入所 80 名、ショートステイ 16 名）  
特養併設新宿在宅サービスセンター（定員 20 名） 開設（葛飾区新宿）
- 5月 グループホーム福さん家 開設（墨田区吾妻橋）定員 9 名

- 2002年 8月 かばらデイサービスセンター 開設（足立区東和）定員 30名  
※医療福祉複合施設（医科・歯科診療所併設）
- 2003年 3月 ※理事長交代 第2代：増子 忠道（常務理事交代：竹森 チヤ子）  
5月 在宅サービスセンター葛西 開設（江戸川区南葛西）定員 15名  
※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2004年 1月 あおと福祉の家 開設（葛飾区青戸） ※福祉複合施設  
グループホーム青戸（定員 18名）  
デイサービスセンターすこやか（定員 30名）  
ファミリーケアすこやか：訪問介護 3事業所開設  
4月 金町学童保育クラブ（定員 57名） 開設（葛飾区東金町）  
6月 グループホーム千住大川 開設（足立区千住大川）定員 18名  
12月 かなまち福祉の家 開設（葛飾区東金町） ※福祉複合施設  
グループホームかなまち（定員 9名）  
デイサービスセンターかなまち（定員 30名） 2事業所開設
- 2005年 4月 つばさ学童保育クラブ（定員 30名） 開設（葛飾区金町）  
6月 ファミリーケア芝：訪問介護 開設（港区新橋）  
9月 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 開設（港区港南）  
11月 グループホームかねがふち（定員 9名） 開設（墨田区墨田）  
※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2006年 1月 すこやかの家みたて 開設（港区港南） ※福祉複合施設  
グループホームみたて（定員 18名）  
デイサービスセンターみたて（定員 15名）  
高齢者グループリビングみたて：高齢者住宅（8室）  
ファミリーケアみたて：訪問介護 4事業所開設  
ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 移転  
5月 ※理事長交代 第3代：竹森 チヤ子（常務理事交代：田制 昭平）  
5月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務受託  
8月 株式会社ファミリーケアから東京都内事業所運営移管により 14事業所開設  
千住大川デイサービスセンター（定員 30名）（足立区千住大川）  
デイサービスセンターかねがふち（定員 30名）（墨田区墨田）  
デイサービスセンターなの花（定員 30名）（江東区大島）  
ファミリーケア立石：訪問介護（葛飾区東立石）  
ファミリーケア北千住：訪問介護（足立区千住仲町）  
ファミリーケア柳原：訪問介護（足立区柳原）  
ファミリーケア西新井：訪問介護（足立区西新井栄町）  
ファミリーケア綾瀬：訪問介護（足立区東和）  
ファミリーケアすみだ：訪問介護（墨田区墨田）  
ファミリーケア新小岩：訪問介護（江戸川区松島）  
ファミリーケア葛西：訪問介護（江戸川区西葛西）  
ファミリーケア大島：訪問介護（江東区大島）  
ファミリーケア深川：訪問介護（江東区東陽町）  
ファミリーケア訪問入浴：訪問入浴介護（足立区千住大川）  
12月 認知症デイサービスよりみち（定員 11名） 開設（足立区柳原）
- 2007年 1月 広報紙「住みなれたまちで」創刊  
7月 本部事務局移転（足立区千住曙町）
- 2008年 3月 こばとの森保育園 10周年記念誌「たからもの 子どもたちが豊かに育つために」発行  
4月 地域包括支援センター青戸 開設（葛飾区青戸）※高齢者総合相談センター青戸  
4月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 開設（足立区千住大川）

4月 よりみちの家 開設（足立区柳原） ※福祉複合施設  
小規模多機能サービスよりみちの家（定員 18 名）  
高齢者グループリビングよりみちの家：高齢者住宅（5 室） 2 事業所開設  
認知症デイサービスよりみち 移転（定員 12 名）

4月 小規模多機能サービス馬渡さん家（定員 18 名） 開設（三郷市鷹野）

4月 はやぶさ学童保育クラブ（定員 30 名） 開設（葛飾区金町）

4月 ファミリーケア立石：訪問介護 移転（葛飾区東立石）

5月 ファミリーケア水元公園：訪問介護 開設（葛飾区水元）

5月 （常務理事交代：菊地 雅彦）

## ■2009年

1月 ファミリーケア深川：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア大島に統合

1月 ファミリーケアすこやか：訪問介護 休止

2月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア北千住に統合

1 2月 ファミリーケアあおと（旧名称ファミリーケアすこやか）再開

## ■2010年

4月 東金町小ひよどり学童保育クラブ（定員 50 名）開設（葛飾区東金町）

5月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 開設（葛飾区青戸）

5月 地域包括支援センター青戸 亀有分室 開設（葛飾区亀有）

※高齢者総合相談センター亀有

6月 ※理事長交代 第4代：中山 美千代

1 2月 業平医療福祉会館 開設（墨田区業平）

※医療福祉複合施設（医科診療所・訪問看護ステーション併設）

グループホームすこやかの家業平（定員 9 名）

小規模多機能サービスすこやかの家業平（定員 18 名） 2 事業所開設

## ■2011年

9月 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年祝賀会

葛飾やすらぎの郷開設 10 周年記念誌「時代を拓く施設づくり」発行

## ■2012年

2月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 移転（葛飾区青戸）

7月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 開設（葛飾区水元）

1 1月 在宅サービスセンター葛西：通所介護 廃止 ※小規模多機能に事業転換

## ■2013年

1月 小規模多機能サービスすこやかの家業平 廃止 ※複合型サービスに事業転換

2月 複合型サービスすこやかの家業平（定員 24 名） 開設（墨田区業平）

※小規模多機能サービスから事業転換

2月 すみれ訪問看護ステーション 開設（墨田区業平） ※健和会から譲渡

2月 すこやかの家かねがふち 開設（墨田区墨田） ※福祉複合施設

ケアハウスかねがふち（定員 20 名）：都市型軽費老人ホーム 開設

デイサービスセンターかねがふち 移転

ファミリーケアすみだ：訪問介護 移転

2月 小規模多機能サービス葛西みなみ（定員 25 名） 開設（江戸川区南葛西）

4月 八潮かえで保育園（定員 85 名） 開設（八潮市大瀬）

## ■2014年

3月 金町学童保育クラブ 休止 ※建替えのため

7月 千住大川デイサービスセンター：通所介護 廃止

9月 ファミリーケア北千住：訪問介護 移転（足立区千住大川町）

1 2月 デイサービスセンターなの花：通所介護 廃止

## ■2015年

2月 金町学童保育クラブ 再開

2月 はやぶさ学童保育クラブ 廃止 ※再開した金町学童保育クラブに統合

2月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更

（定員：入所 84 名、ショートステイ 12 名）

3月 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 開設（江東区業平）

3月 すこやか福祉会 5 ヶ年計画（2015 年～2019 年）策定

5月 ファミリーケア北千住：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア柳原に統合



- 8月 高齢者総合相談センター亀有（地域包括支援センター青戸亀有分室）移転  
（葛飾区亀有）
- 12月 株式会社ファミリーケアからの介護事業所運営移管により7事業所開設  
 デイサービスセンターなごみ（定員30名）（三郷市鷹野）  
 デイサービスセンター采女の里（定員33名）（三郷市采女）  
 ファミリーケアみさと：訪問介護（三郷市鷹野）  
 ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護（三郷市戸ヶ崎）  
 ファミリーケアみさと北：訪問介護（三郷市采女）  
 ファミリーケア松戸：訪問介護（松戸市馬橋）  
 ファミリーケア八潮：訪問介護（八潮市中央）
- 12月 ファミリーケア柳原：訪問介護 移転（足立区柳原）
- 2016年
- 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設  
 4月 ファミリーケア芝：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設  
 5月 ファミリーケアあおと 立石営業所 開設  
 5月 ファミリーケアみたて 芝営業所 開設  
 7月 ファミリーケア松戸：訪問介護 廃止  
 9月 ファミリーケア西新井：訪問介護 廃止
- 2017年
- 3月 子ども食堂「カフェひろば」開始（葛飾区東金町）  
 4月 おおぞ学童保育所（定員80名）開設（八潮市大瀬）※八潮市から指定管理者受託  
 8月 ファミリーケア綾瀬：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設  
 9月 ファミリーケア柳原 綾瀬営業所 開設  
 9月 苦情対応第三者委員会スタート
- 10月 介護事業部組織再編 サービス事業部制からエリア事業部制に再編  
 葛飾エリア、足墨エリア、湾岸エリア、埼玉エリアの4つのエリアでスタート
- 12月 ファミリーケア大島：訪問介護 移転（江東区大島）
- 2018年
- 3月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 廃止 ※あおと介護保険相談室に統合  
 3月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務 受託終了  
 4月 野のはな保育園（定員80名） 開設（足立区西加平）  
 4月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更  
 （定員：入所88名、ショートステイ8名）  
 4月 介護職員学業保障制度開始：2名入職（千住介護福祉専門学校入学）  
 5月 複合型サービスすこやかの家業平 廃止 ※6月に健和会に譲渡  
 すみれ訪問看護ステーション 廃止 ※6月に健和会に譲渡  
 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 廃止  
 6月 すこやか福祉会20周年記念誌「創立20年の軌跡」発行  
 7月 すこやか福祉会20周年記念講演・祝賀会（テクノプラザかつしか）  
 すこやか福祉会20周年記念誌「子育て応援ブックレット-たからもの」発行  
 9月 複合施設TPGケアテラスよまき 開設（三郷市鷹野）  
 小規模多機能サービス馬渡さん家 移転  
 ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケアたかの
- 2019年
- 2月 グループリビングよりみちの家 廃止 ※3月に保健医療福祉協同組合に譲渡  
 3月 ファミリーケアあおと立石営業所：訪問介護 廃止  
 ※翌月、ファミリーケアあおとに統合  
 4月 ファミリーケアあおと：訪問介護 移転（葛飾区青戸）  
 4月 昨年度に引き続き介護職員学業保障制度実施  
 : 3名入職（千住介護福祉専門学校入学）  
 4月 ファミリーケア新小岩：訪問介護 廃止 ※翌月、ファミリーケア船堀に統合  
 5月 ファミリーケア葛西：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケア船堀

(江戸川区東小松川)

- 2020年
  - 6月 かばらデイサービスセンター：通所介護 廃止
  - 7月 こばとの森保育園 隣地購入（葛飾区東水元）
- 2021年
  - 3月 ファミリーケアみたて芝営業所：訪問介護 廃止  
※翌月、ファミリーケアみたてに統合
  - 4月 デイサービスセンターかねがふち  
：通所介護から認知症対応型通所介護に事業転換
  - 4月 グループホーム福さん家 土地・借地権・建物購入（墨田区吾妻橋）
  - 6月 ※理事長交代 第5代：藤井 博之
  - 9月 東金町小ひよどり学童保育クラブ 移転（葛飾区東金町）  
定員変更（50名→75名）
  - 11月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 大規模修繕工事着工  
(2022年10月完了)
- 2022年
  - 11月 こばとの森保育園 避難口新設工事着工（2022年1月完了）
  - 4月 こばとの森保育園 認可定員変更（91名→84名）
  - 4月 つばさ学童保育クラブ 金町小学校内に移転（葛飾区金町）
  - 4月 遺贈により土地・建物取得（流山市南流山・松戸市松戸）
- 2023年
  - 3月 東京さくら福祉会との合併基本合意書・合併契約書締結
  - 5月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更  
(定員：入所91名、ショートステイ5名)